

総合事業経営による農業と地域への貢献宣言

**JAひがしみのは、これまでも、これからも
総合事業経営により農業と地域へ貢献します。**

我々JAは、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの対話を通じて、農業者の所得増大と地域の活性化に取り組みます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得増大や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談や生活相談事業を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の振興や地域づくりを応援していただける方は、農業の応援団として准組合員へ加入していただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で事業活動をしているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農アドバイザー・TACの配置や営農施設への投資が可能です。

主な取り組みは次のとおりです。

農業への貢献では、TAC等専門指導員と他部署間及び県下JAグループとの連携を強化することにより、担い手経営体のニーズに対応する総合事業機能を活かした提案を行っています。また、恵那市・恵那市農業委員会と「農ある暮らしをしたい移住定住者支援の三者連携に関する協定」を締結し、農地付き空き家への移住促進を目指し、JAの営農指導をセットにした就農支援制度を開始しました。

地域への貢献では、中津川市・恵那市と「高齢者見守り協定」や「災害時における生活必需物資に関する協定」の締結により、特にふれあい訪問日等を活用した高齢者の安否確認や、災害時における生活物資の提供、管内における高齢化と過疎化への対策として「移動販売車」の導入により暮らしの支援を行っています。また、管内の農業高校における加工品開発費用や研究費、小中学校での学校給食の食材費を助成し、次世代を担う若者を支援しています。

JAひがしみのは、これまでも、これからも、農業者（正組合員）と農業の応援団（准組合員）とともに、総合事業経営により農業と地域へ貢献することをここに宣言します。

令和元年6月21日

東美濃農業協同組合 第21回通常総代会